

令和4年度 岡崎市美術品等収集委員会書面会議録

- 1 開催日時
令和4年11月30日(水)
※ 岡崎市美術博物館の改修工事のため、書面会議により開催
- 2 書面提出のあった委員(定数5名)
神谷浩委員長・石崎尚委員・高橋秀治委員・山田美佐子委員・吉田俊英委員
- 3 事務局職員
榊原悟特任館長
安藤治樹社会文化部長
美術博物館
前島豊館長・大澤一実副館長・酒井明日香主査・今泉岳大主査・
田中裕紀乃主事・金沢実徳事務員
地域文化広場
三宅葉子館長・諸井力副館長・真山陽理子主事
美術館
村松和明館長・倉橋浩二副館長
- 4 会議の成立
委員5名全員から書面による回答があったため、岡崎市美術品等収集委員会設置要綱第4条第2項及び岡崎市美術品等収集委員会書面会議実施要領第2条第2項の規定により、書面会議は成立している。
- 5 会議の公開・非公開について
岡崎市情報公開条例第7条に規定する非開示情報を取り扱うため、本会議について非公開とした。
- 6 会議の内容
収集候補資料1件(寄附1件)について、資料を調書と写真で説明した。
審議の結果、上記の資料1件について、全員一致で収集が妥当との結論が出た。
委員の意見等は以下のとおり。

【寄附資料】

調書番号1「畠中光享《読書》」

委員A

賛成する／収集の理由もはっきりしているので賛成します。展示等での利用の機会が多く得られるよう希望します。

委員B

賛成する／今年度の畠中氏の作品が入ることで、昨年度の同氏の若い頃の作品を活用する幅が広がると思います。賛成いたします。

委員C

賛成する／すでに収蔵している10代の頃の作と合せることで、より意味のあるものになると思います。

委員D

賛成する／本に没頭する少女の表情に、子どもの頃のかげがえのない読書体験が蘇りました。おかざき世界子ども美術博物館に収集されるにふさわしいと考えます。

委員E

賛成する／品格、人物の存在感、あたたか味をもった雰囲気など、作家の特徴がよく表れている素晴らしい作品だと思います。

以上